

No. 1183

台風17号

豪雨禍

175 +247

東海、中国、四国地方などに記録的な豪雨を降らせた大型台風17号。岐阜県では長良川が決壊、流域一帯は濁流が流れ込み死者、行方不明が続出。

東海地方は伊勢湾台風以来の大水害となった。観測史上にも例がないという1000ミリを越す異常雨量。1年分の雨がわずか数日の間に集中して降った。被害の大きさに自衛隊も出動した。次々に助け出される被災者たち。

9月14日現在、すでに死者、行方不明は170人を越え、被災者は33万人にものぼった。全国各地で水害の犠牲者は増えており被害状況が明らかになるにつれ、更に増えるものとみられている。

おじいちゃんは小学生

— 愛知・半田 —

290
247

国語の教科書を朗読するのは、おじいちゃん小学生こと新屋貞治郎さん。80才の小学生である。

愛知県知多半島の真中に位置する半田市。この町に貞治郎さんは住んでいる。生まれてからこれまで一度も学校教育を受けたことがない。どうしても学校に行きたいと思ったのは78才の時だった。

天気が良いと午前3時半に起床。家族がまだ眠っている頃、衣浦湾に釣に出かける、釣糸を垂れることから貞治郎さんの日課が始まる。帰ってから欠かさず学校の予習をする。最初は予習どころではなく、かな文字さえ、わからなかったが今ではなんとか、学校の授業についていけるようになった。家から学校までは1.5キロ。昨年6月13日授業参観の形で入学が認められてから、毎日貞治郎さんはヘルメットをかぶり、ふろしきに包んだ学用品を持って自転車で通学している。半田市立花園小学校5年2組が貞治郎さんのクラスである。

ひからびて固った老人の頭に国語、算数、理科などのむずかしいことばがぎぎぎと飛び込んでは、はね返った。貞治郎さんはただ黙って理解しようとした、たまに家庭科などは他の子供たちに教えることがある。だか算数は全然わからなかった。

クラスメートと得意の将棋の対局このクラスは貞治郎さんを入れて47人、孫の弘士君もその中のひとりだ。

まじめすぎてこまるくらいの生徒だという。

貞治郎さんの話「学校には小さい時行きたいと思っていた、何がうれしかったかという学校に行けたこととクラスメートからプレゼントされたことです」。

全国から数多くの励ましのたよりが寄せられている。妻のせつさんと整理をしながら、自分のしあわせを噛みしめる貞治郎さんである。